

No.

99

平成31年2月1日発行

12月定例会

発行 秋田県鹿角市議会

編集 議会広報委員会

〒018-5292 鹿角市花輪字荒田4番地1

TEL (0186) 30-0280

e-mail gikai@city.kazuno.lg.jp

URL http://www.city.kazuno.akita.jp/



# がづの市議会だより



平成30年10月9、10日の2日間で「平成30年度決算特別委員会」が開催されました。

12月定例会の概要	2	委員会派遣調査報告	12
一般質問に10名が登壇	3	委員会審査ズームアップ	13
決算特別委員会審査概要	8	議案審議結果一覧	14
議会報告会～市民と語る会～開催概要	10		

「鹿角観光ふるさと館」、「鹿角市八幡平ふれあいやすらぎ温泉センター」の指定管理者の指定などを原案可決

平成30年第8回定例会  
を11月30日(金)から12月20日(水)まで開催

平成30年第8回定例会  
を11月30日（金）から12月19日（水）までの20日間の日程で行い、報告1件、議案14件が上程され、いずれも原案のとおり可決し、議員提出議案5件についても、原案のとおり可決しました。また、9月定例会の最

また、9月定例会の最終日に設置された決算特別委員会に付託していった、平成29年度鹿角市一般会計及び各特別会計の決算認定案件6件については、委員会審査報告の後に採択し、いずれも認定しました。

本定例会に提案された議案等の審議結果については、一覧を14ページに掲載しました。

### 主な議案の審議内容

専決処分の報告について  
(損害賠償の額を定めるこ  
とについて)

**指定管理者の指定について（鹿角観光ふるさと館）**



## 鹿角觀光ふるさと館(あんとらあ)

<p>「本件の概要」</p> <p>施設の効率的な管理、運営を図るため、施設の指定管理者として「秋ハ高原リゾート合同会社」を選定するもの</p> <p>(平成31年4月1日から平成36年3月31日まで)</p>	<p>質問</p> <p>これまでの指定管理者（NPO法人かづのふるさと学舎）は、森林セラピー事業を一元的に行ってきた経緯があるが、新たな指定管理者と森林セラピー事業との関わり方について伺う。</p>
---	--

## 関係機関への意見書

議会へ提出された  
請願・陳情審議結果

- ◆ 本定例会では、陳情件を審査しました。  
結果は次のとおりです。
- 陳情
- ◆ 『採択』
- ◆ 「介護労働者の労働環境及び待遇の改善」のために国に対し意見書の提出を求める陳情
- ◆ 看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設のために国に対し意見書の提出を求める陳情
- ◆ 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善と大幅増員のために国に対し意見書の提出を求める陳情
- ◆ 75歳以上の後期高齢者医療自己負担を2割にしないことを国に求める陳情
- ◆ 介護保険制度の改善、介護従事者の待遇改善等を国に求める陳情

議会へ提出された  
請願・陳情審議結果  
本定例会では、陳情5件を審査しました。



中心市街地の活性化について

問 中心市街地の活性化  
に向けて、今後どのように取り組むか伺う。

もと計画性をもつて整備を進めてまいります。なお、エアコンを設置する場合は、10校103教室で、概算工事費は3億2000万円が見込まれます。

次期総合戦略について

整備により生まれる人の流れを商店街に向けられるよう取り組みを進めてまいります。また、空き店舗について、空き店舗バンクのさらなる周知とマッチングを行い、商店街での起業を考えている方々へのサポートを強化してまいります。

## 小中学校へのニアゴンの設置について

問 国の財政支援を受け  
て、来年夏までに、  
小中学校の普通教室へエア  
コンを設置する考えはない  
か伺う。

答　近年の夏の暑さを考  
えると重要な課題の  
一つとして認識しております  
が、学校再編に向けた施  
設整備を優先させたいと考  
えております。再編整備の  
終了後、エアコン設置も含  
め、より良い学校環境を整  
えるため、包括的な判断の

中山一男議員

(清風會)



田口 裕 議員

(無会派)



質問 1 た項目

■ユネスコ世界遺産を生かした観光振興について ■観光二次交通の対策とJR花輪線の活用について ■ワイファイ環境の整備について ■案内看板、標識の見直し・新設について ■米代川堤防市道の通行止めの早期解除について

## 観光一次交通の対策と JR花輪線の活用について

**問** 観光二次交通の必要性が求められて久しいが、現状をどのように捉え、今後取り組んでいく考えか伺う。

答

幡平を結び、市内へ誘客するアクセスを構築することが重要であると考えます。新年度はさらに「八郎太郎号」の運行経路の見直しによる停留所の増設や、夏祭り、紅葉シーズンの平日運行を検討しており、誘客拉

## ワイヤレス環境の整備について

開が継続されるよう、本協議会のネットワークを活用してまいります。

問 若い人たちや外国人観光客への対応にワクワクしている。今後どのように取り組んでいく考えか伺う。

六

が提供するリノベーションの実績を踏まえ、地域活性化や観光客のニーズを把握しながら、ワイルファイ環境の整備について検討してまいります。

大に結びつけてまいります

現在、市長は花輪線利用促進協議会の今をしているが、その活動況と今後どのように生かしていくかを考えを図る。

構成団体のトップが出席する総会において、JRに対して観光臨時車の運行について提案など建設的な意見交換が行われております。化輪線の利用促進方策については、関係自治体が知り合い出し合い、連携する必要があります。今後も活発な事業展開が継続されるよう、本協議会のネットワークを活用してまいります。

## 鹿角市ふるさと・キャリア教育について

問

現在市内に1500程ある事業所中、職場体験・職場見学に協力している事業所は167件と少なすぎる感じ。若者に残つて欲しいのであれば、市内全事業所に協力を要請するべきと思うが、考えを伺う。

答

課題として、児童生徒が希望する体験内

容と事業所の受け入れ内容とのミスマッチや、人数・時期・時間などの制約があげられます。受け入れ先事業所を増やす事は、学校や児童生徒の選択肢が増える事につながりますが、事業規模や事業内容によって受け入れが難しい事業所もあることから、現在登録されている事業所での受け入れが増えるよう、事業所と学校のミスマッチの解消と連携強化に優先して取り組んでまいります。

## 市民ポイントについて

問

奈良市の事例はとても参考になると考へるが、研修先として職員の派遣ができないか伺う。

答

先進事例をそのままの形で本市に導入で

きるものではないため、本市の実情に合わせて、研修派遣の必要性を判断してまいります。

## 出会い系事業について

問

予算見直しの中で、費用対効果で一番削

られやすいこの事業だが、現在、県の事業を通して、少子化対策と人口増に向けて県内では他にはない、県と民間と自治体の連携の形ができかけている。もつと市としての後押しとアピールがあつてもいいと考える。すぐに結果に結びつくものではなくても、長期的な視点で予算を維持してもらいたいと思うが、考え方を伺う。

答

出会い系事業は、児童生徒の選択肢が増える事につながりますが、事業規模や事業内容によって受け入れが難しい事業所もあることから、現在登録され

## 質問した項目

- 鹿角市ふるさと・キャリア教育について
- 市民ポイントについて
- 地域おこし協力隊の募集の仕方について
- 出会い系事業について
- 市民アンケートについて

金澤 大輔 議員

(鹿真会・公明)



## 倉岡 誠 議員

(誠心会)



## 質問した項目

- 高齢者福祉について（尾去沢デイサービスセンターの廃止と介護予防の取り組みについて）
- 公営合葬墓について
- 森林環境税（仮称）、森林環境譲与税（仮称）について

## 高齢者福祉について

問

尾去沢デイサービスセンターの廃止と介護予防の取り組みについて、経緯と理由について伺う。また、介護予防の取り組みについて伺う。

答

平成11年度に開所した尾去沢デイサービ

スセンターは、オーブン3年後の平成13年度には年間延べ5千人を超える利用がありましたが、利用者が年々減少し、平成29年度には年間延べ2145人と半数以下の利用者数となっています。施設の老朽化も著しく、維持継続には利用状況に対してもコストが過大になることから、廃止することとし、既に同様の機能を有している福祉プラザ内の高齢者センターへ統合することとしたものです。

## 施設の廃止後の跡地利用についてどのように考へているか伺う。

答

現時点では未定であり、今後検討してま

## 公営合葬墓について

問

合葬墓を建設する自治体が出ている。市民からの要望もある。今は必要ないということではなく、将来的に必要な見地から検討していただきたいと思うが、考え方を伺う。

これまでに市民からの要望を受けていることもあり、現在は早急な検討課題とする状況にはないと考えております。

## 森林環境譲与税について

問

森林整備計画を見直し、活用手法や新たな森林管理システムの運用に関する項目を盛り込んでまいります。



尾去沢デイサービスセンター

## 一般質問 児玉悦朗議員(清風会)

### 本市の医療体制について

市内3病院の診療科は、法律で定める医師と看護師の必要数が確保されていますが、かづの厚生病院は開院時に必要とされた常勤医25人に対し、現在は研修医1人を含む19人という現状にあります。

市内3病院の診療科は、法律で定める医師と看護師の必要数が確保されていますが、かづの厚生病院は開院時に必要とされた常勤医25人に対し、現在は研修医1人を含む19人という現状にあります。

地域医療体制の充実策を構築していくのか伺う。

### 答

中核病院であるかづの厚生病院の機能の充実については、救急・小児医療の運営支援や非常勤医の確保支援に加え、岩手医科大学に平成22年度から寄附講座を設置していることで、常勤医・非常勤医の派遣に大きな効果を上げており、今後も継続してまいります。

### 問

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

平成29年度の赤字額は約3億8900万円となつております。患者数や医師数を踏まえ、赤字縮小に努めているようですが、収益に大きく影響を及ぼす医師確保が計画通りに進まず、根本的な解消には至つていないと伺っております。市の支援は平成27年3万円となつておらず、28年度5004万円、29年度4963万円となつておらず、

### 答

草木小、花輪北小、平元小の4校ですが、まずは公共サービスでの利用の可能性を検討した上で、市民からの利用意向があればこれを優先したいと考えております。

空き校舎の有効活用について空き校舎の活用の計画について伺う。

### 答

再編により空き校舎となるのは末広小、草木小、花輪北小、平元小の4校ですが、まずは公共

地域医療体制の充実策を構築していくのか伺う。

## 一般質問 吉村アイ議員(無会派)

### 世界遺産登録に向けた大湯環状列石の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたということ

は、いずれ選定されることが予測される。今後の取り組みの強化についてどのように考えているか伺う。

今年度推薦候補に選定されたことから、来年度においても有力な候補であることに変わりない

と考へており、2021年度の世界遺産登録に向けて粘り強く取り組みを進めたいと考へております。

来年度においても有力な候補であることに変わりない

と考へており、2021年度の世界遺産登録に向けて粘り強く取り組みを進めたいと考へております。

世界遺産登録に向けた大湯環状列石の取り組みの強化について

### 質問した項目

- 鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 本市の医療体制について
- 空き校舎の有効活用について
- 大湯環状列石周辺の発掘調査計画について
- 指定管理者制度について
- 本市施策の情報発信方法としてのSNSの活用について
- ブランド作物栽培面積増加策について
- 耕作放棄地対策について

吉村 アイ 議員  
(無会派)



### 質問した項目

- 世界遺産登録に向けた大湯環状列石の取り組みの強化について
- 産業遺産である史跡尾去沢鉱山の観光拠点としての取り組みの強化について
- 鹿角市の全国的な認知度向上について

### 問

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化についてどのように考へているか伺う。

今年度推薦候補に選定されたことから、来年度においても有力な候

補であることに変わりない

と考へており、2021年度の世界遺産登録に向けて粘り強く取り組みを進めたいと考へております。

世界遺産登録に向けた大湯環状列石の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること



児玉 悅朗 議員  
(清風会)

### 問

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

受け入れ態勢の整備が必要であることから、今年度からガイドの育成に取り組んでおります。

また、態勢整備に当たって、ガイドを提供する時間について検討を要するため、交渉費の負担のあり方も協議したいと考えております。

世界遺産登録に向けた大湯環状列石の取り組みの強化について

### 本市の医療体制について

病床数や医師や看護師の適正な人数に対して、現状の人数はどれほどどの差があるのか。

市内3病院の診療科は、法律で定める医師と看護師の必要数が確保されていますが、かづの厚生病院は開院時に必要とされれた常勤医25人に対し、現在は研修医1人を含む19人

とという現状にあります。

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

平成29年度の赤字額は約3億8900万円となつております。患者数や医師数を踏まえ、赤字縮小に努めているようですが、収益に大きく影響を及ぼす医師確保が計画通りに進まず、根本的な解消には至つていないと伺っております。市の支援は平成27年3万円となつておらず、28年度5004万円、29年度4963万円となつておらず、

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

中核病院であるかづの厚生病院の機能の充実については、救急・小児医療の運営支援や非常勤医の確保支援に加え、岩手医科大学に平成22年度から寄附講座を設置していることで、常勤医・非常勤医の派遣に大きな効果を上げており、今後も継続してまいります。

市内3病院の診療科は、法律で定める医師と看護師の必要数が確保されていますが、かづの厚生病院は開院時に必要とされれた常勤医25人に対し、現在は研修医1人を含む19人

とという現状にあります。

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

平成29年度の赤字額は約3億8900万円となつております。患者数や医師数を踏まえ、赤字縮小に努めているようですが、収益に大きく影響を及ぼす医師確保が計画通りに進まず、根本的な解消には至つていないと伺っております。市の支援は平成27年3万円となつておらず、28年度5004万円、29年度4963万円となつておらず、

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの助成金額の推移について伺う。

空き校舎の有効活用について空き校舎の活用の計画について伺う。

再編により空き校舎となるのは末広小、草木小、花輪北小、平元小の4校ですが、まずは公共

サービスでの利用の可能性を検討した上で、市民からの利用意向があればこれを優先したいと考えております。

空き校舎の有効活用について空き校舎の活用の計画について伺う。

再編により空き校舎となるのは末広小、草木小、花輪北小、平元小の4校ですが、まずは公共

サービスでの利用の可能性を検討した上で、市民からの利用意向があればこれを優先したいと考えております。

空き校舎の有効活用について空き校舎の活用の計画について伺う。

再編により空き校舎となるのは末広小、草木小、花輪北小、平元小の4校ですが、まずは公共

サービスでの利用の可能性を検討した上で、市民からの利用意向があればこれを優先したいと考えております。

空き校舎の有効活用について空き校舎の活用の計画について伺う。

再編により空き校舎となるのは末広小、草木小、花輪北小、平元小の4校ですが、まずは公共

サービスでの利用の可能性を検討した上で、市民からの利用意向があればこれを優先したいと考えております。

空き校舎の有効活用について空き校舎の活用の計画について伺う。

空き校舎の有効活用について空き校舎の活用の計画について伺う。

再編により空き校舎となるのは末広小、草木小、花輪北小、平元小の4校ですが、まずは公共

サービスでの利用の可能性を検討した上で、市民からの利用意向があればこれを優先したいと考えております。

空き校舎の有効活用について空き校舎の活用の計画について伺う。

再編により空き校舎となるのは末広小、草木小、花輪北小、平元小の4校ですが、まずは公共

サービスでの利用の可能性を検討した上で、市民からの利用意向があればこれを優先したいと考えております。

空き校舎の有効活用について空き校舎の活用の計画について伺う。

再編により空き校舎となるのは末広小、草木小、花輪北小、平元小の4校ですが、まずは公共

サービスでの利用の可能性を検討した上で、市民からの利用意向があればこれを優先したいと考えております。

空き校舎の有効活用について空き校舎の活用の計画について伺う。

再編により空き校舎となるのは末広小、草木小、花輪北小、平元小の4校ですが、まずは公共

サービスでの利用の可能性を検討した上で、市民からの利用意向があればこれを優先したいと考えております。

空き校舎の有効活用について空き校舎の活用の計画について伺う。

世界遺産登録に向けた大湯環状列石の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

世界遺産登録に向けた大湯環状列石の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

世界遺産登録に向けた大湯環状列石の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

世界遺産登録に向けた大湯環状列石の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

世界遺産登録に向けた大湯環状列石の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

世界遺産登録に向けた大湯環状列石の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

は、いずれ選定されること

が予測される。今後の取り組みの強化について

7月に推薦候補に選定されたこと

## 災害対策について

**問** 防災マップをもつと  
市民の理解に活用す  
べきと考えるが所見を伺  
う。

市では、出前講座や地域の防災訓練などな機会を捉え、防災を活用した防災情報

の周知活動に努めているほか、市ホームページにも防災マップ情報を掲載するとともに、鹿角きりたんぽFMでの放送や市広報を利用して、定期的に防災情報を発信するなど、災害が発生した場合に防災マップを有効活用していただけるように、日頃から呼び掛けを行つております。

教育費の負担に不安を抱えている親が多いが、児童教育の無償化や奨学金のさらなる充実を図り、子育て世代への支援を拡充すべきと考えるが所見を伺う。

答 今年6月に閣議決定  
され、「経営才女重

された一経済財政運営と改革の基本方針2018において、来年10月から3歳以上の全ての子供及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子供についての保育園等の利用料金の無償化を実施することとしております。

奨学金については、本市の無利子貸与制度のほか、

災マップについては、平成27年12月に作成し全戸配布したものであります。マップの大きさをA3サイズとし、高齢者が読みやすいよう重要な項目を大きな字で表示するなど、比較的分かりやすいとの評価を得ておりますので、防災マップに興味を持ち、手に取つていただく機会が多くなるよう、さらなる周知に努めてまいります。

国への給付型奨学金や県の一定要件を満たした場合に奨学金の返還を助成する制度があり、また、福祉施策の面ではひとり親世帯を対象とする貸し付けのほか、今年度から生活保護世帯の進学支援に関する給付金も創設されています。

市としては、国や県の支援策拡充の動向を注視し、引き続き保護者の負担感の解消に努めてまいります。

## 子育て世代への支援拡充について

秉澤 祐一 議員

(鹿真会・公明)

#### 質問した項目

- 災害対策について
  - 観光危機管理について
  - 全国「100万人訪問・調査」について



戸田 芳孝議員

(無会派)



## 質問した項目

- 成年後見制度について
  - まちづくりについて

強なち 占

答 人口減少社会に対応したコンパクトなまちづくりのほか、自然環境などの景観保全や、災害に強いまちづくりを重視しながら、見直しを進めてまいります。

## 鹿角市都市計画マスタープランについて

屋根塗装のほか、来年度には使用期限となる火災報知器の更新を予定しております。

年度には使用期限となる火災報知器の更新を予定しております。

長寿命化計画では建て替えを含めた活用手法の判定を行つており、四の岱住宅についても建て替え候補としておりますので、おおよそ5年を目途とした計画見直しの際に、維持管理と整備方法などを検討してまいります。

## 四の岱市営住宅の老朽化 対策について

四の岱住宅は経年劣化が進んでおり、安全性の確保だけでなく、居住性の向上も必要である。早急に改修すべきであるが、どのように考へているのか伺う。

**答** 今年度から2カ年で、屋根塗装のほか、来年度には使用期限となる火災報知器の更新を予定しております。

長寿命化計画では建て替えを含めた活用手法の判定を行つており、四の岱住宅についても建て替え候補としておりますので、おおよそ5年を目途とした計画見直しの際に、維持管理と整備方法などを検討してまいります。

成年後見制度の充実について

**問** 十和田南駅周辺地域の活気を取り戻すために、何かしらの戦略を打ち出せないか伺う。

**答** 鹿角市全体の中でも十和田地区をどのようなエリアとして位置付け、個性あるまちづくりを目指すかを検討してまいります。

**問** 四の岱市営住宅の老朽化対策について

**答** 四の岱住宅は経年劣化が進んでおり、安全性の確保だけでなく、居住性の向上も必要である。早急に改修すべきであるが、どのように考えているのか伺う。

**答** 今年度から2カ年で屋根塗装のほか、来年度には使用期限となる火災報知器の更新を予定しております。

長寿命化計画では建て替えを含めた活用手法の判定を行つており、四の岱住宅についても建て替え候補としておりますので、おおよそ5年を目途とした計画見直しの際に、維持管理と整備方法などを検討してまいります。

# 決算特別委員会審査概要

## 決算特別委員会

### 審査概要

決算特別委員会（栗山尚記委員長）を、平成30年10月9日及び10日の2日間の日程で行い、平成29年度決算の詳細な審査を行いました。

認定案件6件を審査した結果、いずれも認定すべきものと決しました。

### ◇一般会計《歳入》

Q 収納率が全体では前年度より上がっているが、固定資産税の収納率が低く、滞納繰越額も膨らんできているが、その要因は何か。

A 固定資産税は会社等が破産し、清算が完了した場合は、新たな所有者に課税されることになるが、清算がなされないまま新年度を迎えた場合に、徴収すべき相手がないケースなどがある。そのようなケースにおいても、状況の確認



決算特別委員会の様子

Q 臨時福祉給付金給付事業について、対象者に対する最終的な支給率及び支給率を上げる工夫は何かされたものか。

A 支給率は95・3%であり、支給率を上げるために、申請対象者と思われる方に対し文書や電話にて申請の勧奨を行つて

Q アグリビジネス支援事業について、6次産業化についてはこれから

や調査を進めながら適正な課税・徴収につながるよう努めている。

Q 固定資産税の現年課税が2300万円ほど増えているが、この理由は何か。

A 堅調な経済情勢を背景とする、企業の設備投資意欲による償却資産の増加に加え、評価替えのない年度における新築建物に係る税額の増加が平成28年度から29年度にかけての固定資産税額の増額の大きな要因となっている。

Q ふるさと鹿角応援寄附金について、総務大臣が返礼割合に対して意見を述べたことについて、鹿角市の対応と今後の見通しは。

A 国からの要請に対し、適正に変更しながら運用している。今後においても国のルールに基づいて、平成29年7月より返礼品割合を3割以内とし、適正に変更しながら運用している。

きの提案なども行い、それに伴い少しづつではあるが収入未済額は減少している。

### ◇一般会計《歳出》

Q 空き家等適正管理進事業について、危険空き家除却に対する国の交付金との関係をどのように考えているか。

A 国の交付金については、除却した後に市として避難所などを設置したり、自治会が除雪時の排雪場所として利用するなど、除却後の利活用が可能なものを除却した場合のみ対象となるため、国との交付金を利用しての除却は難しい状況にある。

きながらも返礼品の充実、魅力的な事業への充當などを行ってまいりたい。

Q 人間ドック等検診事業について、人間ドック及び脳ドックの受診者数の推移はどうなっているか。

A 人間ドック受診者については直近3年間では若干減少傾向にある。また、脳ドック受診者については直近3年間では大体130人前後で推移している。

M放送やコンビニでのポスター掲示などを行つて周知されていると考えている。

いろいろな形で進めていかなければならぬかと思うが、今後どのように推進していくのか。

A 昨年度は自家野菜の乾燥野菜のみそ汁を製造・販売するという形で取り組んでいただき、あんとらあや東京にある秋田県のアンテナショップなどで販売をしている。今後については、今年度、農業者から4件の相談があり、協定を締結している北都銀行やかづの商工会などとも連携しながら、販売方法や販路の指導を受けながら活動しているところである。

Q 地域内連携推進事業について、平成28年度から平成30年度までの3力年、産業コーディネーター13名を配置しているが、相談件数などを見てみると、産業における現在の評価及び来年度以降のコーディネーターの位置付けをどのように考へるか。

A 製造業ネットワークが、製造業ネットワークについては首都圏等とのつながりを生かした受注、食品製造業ネットワークでは首都圏での販売展示会への出展など、非常に評価できるものであるため、今後の事業推進に当たって、検証をしまりたい。

Q 消火栓の更新や維持管理などは計画的に行われているものか。

A 新設する消火栓については年間4、5基をめどに新設している。また、消火栓の維持・整備・管理については職員により月に1回以上巡回し、目視による点検を行つており、さらに年1回以上は実際に消火栓の水出しを行いながら、機能が十分果たせるかどうか点検を実施している。

Q 歳入歳出の差し引き残高が2億8150万3019円、また、基金の残高が2億5895万3000円となつており、本市の国保財政には極めて健全であると言えるかと思うが、被保険者の税負担を減らすことにも大事だと思うことから、給付と負担のバランスについてはどのように考へているか。

A 差し引き残高と基金残高の合計が本市国保財政で余裕がある分だと考えているが、今後国へ返還する額などもあること

Q 介護従事者が不足している状況だが、施設や在宅介護従事者の状況は把握しているものか。

A 市内の介護事業所においては、介護従事者も充足している事業所もあるが、中には従事者不足のためハローワークに求人を出している事業所もある。施設介護や在宅介護にかかわらず、介護人材の不足により介護サービスに影響が出るため、平成29年度に「介護のごとフェア」を開催するなど、市としても介護人材の確保に鋭意取り組んでいる。

Q 今後新たに農業集落排水事業を実施する予定の地区はあるか。

A 平成27年度に農業集落排水事業を含めた下水道事業等の整備計画マスター・プランを作成しているが、今後農業集落排水事業を実施する地区的予定はない。

Q 構築、食品製造業ネットワークの構築及びそれらのサポートにそれぞれ1名ずつ雇用しているが、製造業ネットワークについては首都圏等とのつながりを生かした受注、食品製造業ネットワークでは首都圏での販売展示会への出展など、非常に評価できるものであるため、今後の事業推進に当たって、検証をしまりたい。

Q 国民健康保険事業特別会計

A 昨年度の入館者数は1406人となつており、展示についても常設展示のほかに企画展なども開催している。また、市内小学校の校外学習で小学生からも見学している。

Q 下水道事業特別会計

A 不納欠損については、生活困窮や居所不明となるといいか確認をしながら、予算編成の中で検討してまいりたい。

Q 滞納額の不納欠損をするに当たり、十分な対応をしているものか。

A 不納欠損について所がつかめず、財産調査を行つても差し押さえる財産がないという理由により不納欠損処理を行つたものである。

Q 下水道事業特別会計

から、決して多くの余剰がある状況ではないと考えている。今後も毎年の予算編成のタイミングで県から納付金額が示されることとなるため、その都度、税率が適正であるか、余剰金や基金が過大となつていなか確認をしながら、予算編成の中で検討してまいりたい。

## 議会報告会～市民と語る会～

鹿角市議会基本条例に基づく議会報告会を平成30年11月6日及び7日の2日間、2班編成で市内4会場で開催し、延べ18名の方よりご来場いただきました。

議会報告会は、議会広報委員会が企画立案を行い、会場準備や進行等も議員が行いました。当日は、初めに平成30年度の定例会、臨時会の開催状況や、常任委員会、決算特別委員会等の審査状況、委員会派遣調査の状況などの報告を行ない、その後は「市民と語る会」として、第1班では、「災害対策について」、第2班では、特定のテーマを設けない「フリーテーマ形式」でそれぞれ意見交換を行いました。

また、市政全般や議会に関する活発な意見交換を行いました。皆様から出されました貴重なご意見やご要望は、議会として検討でき

るものは検討し、また、生活環境など当局に知らせるべきものは速やかに伝えてまいります。当日皆様からいただきましたご意見、ご要望並びにアンケートの主な内容は次のとおりです。



### ■会場で出された 主な意見・要望等 (議会運営等) ≪市議会に関すること≫

- ◇ 観察報告書は一般市民も閲覧可能なのか。
- ◇ 政務活動費について廃止も検討しているとのことだがその内容は。
- ◇ 議会報告会の参加者が増えるPRをもつとし
- ◇ 要介護5の人等がしつ

てほしい。  
◇ 議会報告会に人が集まらないのは、議員の活動が見えない、魂や意気込みが感じられない等の問題もある。自治会へ直接出向く等の工夫も必要ではないか。

かりと避難できる現実的な避難プランを作成し、周知してほしい。  
◇ 深夜帯の避難情報発信は、現実的に避難行動に無理があるので、早い時間帯での発信が必要。林道があるのに林道が立地等が適切で、かさ上げ等の対応してほしい。

◇ 大里ファーム近くの堤防整備は、原形復旧ではなく、災害対策として、かさ上げ等の対応が必要ではないか。



### ◇ フリーテーマ (市政全般について) ≪市政全般について≫

- ◇ 「鹿角市災害危険住宅移転事業推進条例」の廃止について、非常に不安である。危険要素はあると思うので、市としての対応が必要。
- ◇ 尾去沢小学校敷地のけ崩れへの対処を、応急処置に留めず、きちんと対応してほしい。体が不自由な方を対象とした避難訓練や計画策定をしっかりと行ってほしい。
- ◇ 出産に関して、これからは交通費や宿泊費の助成などを充実させた
- ◇ 下モ平地区の低地の浸
- ◇ 浸水の危険性のある避難所の立地環境等を踏まえ、避難所の見直しを検討する必要あり。
- ◇ 八幡平エリアは堤防のかさ上げや川底の整備が必要。
- ◇ 観察報告書は一般市民も閲覧可能なのか。
- ◇ 政務活動費について廃止も検討しているとのことだがその内容は。
- ◇ 議会報告会の参加者が増えるPRをもつとし
- ◇ 要介護5の人等がしつ

るものは検討し、また、生活環境など当局に知らせるべきものは速やかに伝えてまいります。当日皆様からいただきましたご意見、ご要望並びにアンケートの主な内容は次のとおりです。

◇ 北海道での地震による急傾斜地の崩壊を受け、本市の地質も類似していることから指定地域の確認が必要。地盤の確認が必要。

◇ 防災マップでは、コモッセが第1避難所になつてあるが、立て看板が一つもない。またスポーツセンターは第2避難所となつてあるが看板がない。

◇ 水対応や避難対応をきちんとしてほしい。  
◇ 避難場所の立地等が適正であるかの再確認が必要。

- ◇助産師の方を救急車に同乗させることができないか。助産師の方が不足している。
- ◇世紀越えトンネルは費用対効果の観点から必要な事業なのか。
- 
 田子・大湯間バイパス整備促進看板
- ◇行政は建物をつくり、管理は指定管理制度により委託するが、市民の声を拾い上げるシステムが大事だと思う。
- ◇八幡平中学校が山の案内人を始めてから50年になるが、生徒が頑張っているのに、議員が顔を見せないのはなぜか。
- ◇市道補修について、資材支給を受けて市民が修繕しているが道路自体の根本的修繕が必要なため限界がある。
- ◇八郎太郎号の活用をもつと検討してほしい。
- ◇免税店のPRが少ないので、もつとPRしたほうが良い。
- ◇人口減、高齢化、低賃金の状況で、これから若い人を支援する取り組みをしてほしい。
- ◇岩手県と比べて八幡平山頂までの便が少ない等、八幡平の二次アクセスが不便と感じる。
- ◇自治会の高齢化が問題となっている。70代の
- ◇企業誘致等の方策により所得の底上げをしてほしい。
- ◇公平な税金の徴収について、決算特別委員会ではどのような審査が行われたのか。これまでの決算特別委員会でもらいたい。
- ◇学校にクーラーをつけたところ。
- ◇岩手県と比べて八幡平山頂までの便が少ない等、八幡平の二次アクセスが不便と感じる。
- ◇大湯ストーンサークル

参加者 18名  
うち回答者 13名

■アンケート結果■



十和田市民センター会場

平成30年度「議会報告会～市民と語る会～」開催実績

- 1日目:平成30年11月6日(火) 午後6時から
    - ・第1班:十和田市民センター 来場者 2名
    - ・第2班:花輪市民センター 来場者 12名
  - 2日目:平成30年11月7日(水) 午後6時から
    - ・第1班:尾去沢市民センター 来場者 3名
    - ・第2班:八幡平市民センター 来場者 1名
- 来場者計 18名(男性18名、女性0名)

※以下、原文のとおり掲載します。

《議会報告会についての感想》

《市議会に対する意見・要望》

- ・初めて参加させていたしましたが、活発な議論がされていて、次回も参加させていただきたくと思いました。
- ・議員さんへ。日ごろ市民と話していることから問題を見出して市民の側の議員になってください。
- ・議員の力を積極的に出してください。
- ・議員さんへ。日ごろ市民と話していることから問題を見出して市民の側の議員になつてください。
- ・傍聴者が少ない。傍聴者を増やす工夫がほしい。

## 委員会派遣調査報告

議会運営委員会  
(宮城県登米市、  
岩手県奥州市)

○宮城県登米市では、「議会改革」について調査しました。

登米市議会では、議会改革推進会議を設置し、通年議会の導入、議員質疑や発言の内容を補完することができる議場内大型ディスプレイの設置、公募した議会モニターからの議会運営に関する意見の聴取、委員間討議や決算審査を経て政策提言につなげるための事務事業評価を実施するなど、さまざまな議会改革を行っています。



登米市役所（迫総合支所）

迅速かつ適切に対応できるとともに、常任委員会においても議会改革検討委員会で導入の検討を重ねていることからを行うことが可能となるなど、メリットは多いとのことででした。

○岩手県奥州市では、「タブレット端末の運用状況」について調査しました。

議会へのタブレット端末の導入は、議会改革の一環として、資源の節約等のため、タブレット端末導入の可能性や課題・問題点について検討を重ね、市当局との調整を行い、平成29年9月定例会からタブレット端末を導入し、ペーパーレス議会を始めております。

タブレット端末の導入のメリットとしては、原則全ての会議をペーパーレス化することにより、使用する紙の大大幅な削減につながるとともに、委員会資料等についても全議員が閲覧可能となるなど、適時かつ迅速な情報共有が可能となつたほか、議員活動における活用も期待できるとのことでした。

特に、通年議会についてより、常に議会が活動できる状態にあることから、災害などの突発的な事態にもは会期を通年とすることに

資源の有効利用や環境問題などを考えたとき、ペーパーレス化は大変有効であ

り、本市議会においても議会改革検討委員会で導入の機能を果たすとともに、市議会検討を重ねていることからも、実際に導入し活用している奥州市議会の状況は、大変参考となりました。

(派遣委員)

児玉政明 中山一男  
田村富男 倉岡誠  
成田哲男 戸田芳孝  
(オブザーバー) 宮野和秀  
兎澤祐一

管内調査

『産業建設常任委員会』  
11月20日に、8月15日からの大雨により舗装路面が約60メートルにわたり崩落した市道米代川堤防3号線の視察を行いました。



被災現地（花輪字観音堂地内）

本件の被害は、河川護岸が被災したものであるが、その復旧方法は国の災害復旧事業により、河川管理者である県が行うものであるとの説明が行われ、10月の最終週に国の現地査定を受けおり、国費の配当が決定し次第、入札事務手続きを進め、平成31年3月の発注を目指していると県より伺っているとの説明がありま

した。当工場では12月3日に種まきが行われており、移植やトリミングなどの過程を経て、1月には出荷が可能となる予定とのことでした。多様な食品ニーズへ

ました。当該市道は、堤防機能を果たすとともに、市役所やかづの厚生病院方面への経路となつており、国道の混雑解消にも寄与している重要な道路であることから、可能な限り早期復旧が図られるよう要望してまいりました。

の対応や、新たな雇用創出がなされるものと、市議会としても大いに期待するものであります。



新しい調理器具の説明



社員による工場の概要説明

『教育民生常任委員会』  
11月20日に、鹿角市学校給食センターの視察を行いました。  
食材の検品や下処理をする場所と、調理・配膳の作業領域が区分されているなど、国の衛生管理基準に対応し、安全・安心な給食の提供が可能となります。



新しい調理器具の説明

## 総務財政

◇「鹿角市長の選挙における選舉運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正」について、ビラの作成の公営に関しては、各自治体で判断することとなつてゐるが、県内他市の条例の改正状況についてただしております。

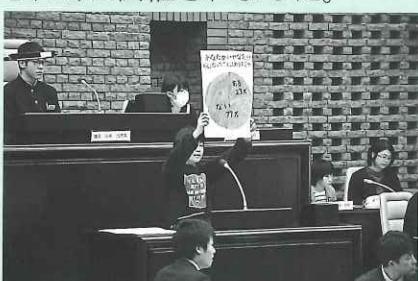
## 【第8回定例会において審議した議案の審議結果】

件名	審議結果
[市長提出]	
◇専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報告
◇議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
◇特別職の職員で常勤の物の給与及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
◇一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
◇指定管理者の指定について（鹿角観光ふるさと館）	原案可決
◇指定管理者の指定について（鹿角市八幡平ふれあいやすらぎ温泉センター）	原案可決
◇秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について	原案可決
◇鹿角市長の選挙における選挙運動用ビルの作成の公営に関する条例の一部改正について	原案可決
◇鹿角市学校給食センター条例の一部改正について	原案可決
◇鹿角市印鑑条例の一部改正について	原案可決
◇平成30年度鹿角市一般会計補正予算（第8号）	原案可決
◇平成30年度鹿角市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
◇平成30年度鹿角市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
◇平成30年度鹿角市上水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
◇平成30年度鹿角市一般会計補正予算（第9号）	原案可決
◇平成29年度鹿角市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成29年度鹿角市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成29年度鹿角市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成29年度鹿角市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成29年度鹿角市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成29年度鹿角市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
[議員提出]	
◇「介護労働者の労働環境及び待遇の改善」のための意見書の提出について	原案可決
◇看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書の提出について	原案可決
◇安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善と大幅増員を求める意見書の提出について	原案可決
◇75歳以上の後期高齢者医療自己負担を2割にしないことを求める意見書の提出について	原案可決
◇介護保険制度の改善、介護従事者の待遇改善等を求める意見書の提出について	原案可決

1月9日(水)、鹿角市議会本会議場で「いじめ防止子ども議会」が行われました

鹿角市内の小中学校の児童生徒らが、いじめ防止基本方針に基づき、いじめ防止強調月間に各校で行われた取り組みの紹介を行い、議会形式で意見交換等が行われました。

子ども議会は、いじめ防止に向けた児童生徒の自主的な取り組みを活性化させるほか、鹿角市の未来を担う児童生徒が政治に関心を持ち、議会で活動することにより社会参加への意欲を育むことを目的に開催されました。



初めに、各校の「いじめ防止の取組」についての議案が上程されました。



次に、各校の議案に対し児童生徒から活発な質疑や意見が出されました。



最後に、「いじめ防止こども宣言」が採択され、子ども議会は閉会しました。

議會広報委員会  
委員長 金澤 栗山 尚記 大輔  
副委員長 成田 浅石 吉村 アイ  
委員 哲男 昌敏

今年も市内4カ所の各市民センターにおいて、議会報告会及び市民と語る会が開催されました。参加人数が少なかつたことは、今後の大きな課題となりますが、12月定例会の一般質問では複数の議員が、市民の皆様からいだいた多くのご意見を取り上げ、「語る会」の存在意義をしっかりと示した形となつたと思います。

編集後記